

さわやか

第 68 号
平成 25 年 10 月 発行

神奈川県高等学校体育連盟広報誌

2013 未来をつなぐ北部九州総体



於:大分銀行ドーム
(大分スポーツ公園総合競技場)

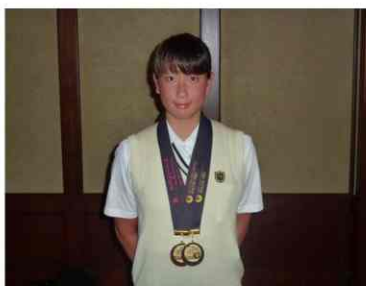
今年も全国各地で高校生トップアスリート達の熱き戦いが繰り広げられ、本県選手団も素晴らしい成績を残してくれました。その報告会も兼ねて9月4日(水)に県知事表敬を行いました。

「全国総体を終えて」

全国高校総体
(水泳)

優勝 女子200m・400m
自由形

日大藤沢
3年 五十嵐 千尋



「世界選手権にも出場し、IHでは納得いく調整ができずにいましたが、良い結果が出せてよかったです。将来の目標はリオデジャネイロ五輪に出場することです。もっと成長出来るように頑張りたいです。」

「全国定通大会を終えて」

全国高校定通大会
(自転車競技)

優勝 トラック・ロード 総合

県平塚農業初声分校
3年 重田 光貴



「チームで協力し戦うロードレースの素晴らしさを実感し、自分一人の力ではなく先生、チームメイト、保護者の皆様のおかげで優勝できました。」



「定通大会パドミント団体で優勝した各学校の選手たち」



「フェンシング女子フルーレで優勝した
日本女子大附の浅野早紀さん」



「全国総体にて優勝、準優勝したみなさん」



「定通大会自転車競技トラック総合で優勝した県追浜定の選手たち」



「全国定通大会にて優勝、準優勝したみなさん」

総合開会式の様子



「現地のプラカード保持生徒と県高体連会長と
県高体連選手団」



「旗手の生徒」



「開会式にて入場行進の様子」



「選手を激励する県高体連小野会長」

全国大会の様子



「県大和南女子バレーボール部」



「湘南学院女子サッカー部」



「ボクシング会場にて県綾瀬西ボクシング部
井上拓真選手と県高体連長瀬副会長」



「光明相模原男子新体操部」



「県弥栄女子テニス横川仁美」



「男子テニス
団体が優勝した
湘南工科大附の
選手」



「テニス男子個人で
優勝した湘南工科大附
の徳田廉大」

各種委員会報告

安全対策委員会

委員長 桃木 祥 (県平塚工科)

平成25年度赤十字救急員資格取得講習会報告

平成25年度赤十字救急員資格取得講習会は、以下のよう
に実施されました。

【日 時】 8月2日(金)、3日(土)、9日(金)
10日(土) 4日間 9:30~17:30

【会 場】 県立スポーツ会館 (2階会議室・多目的室)

【参加者】 16名 (女性12名・男性4名)
継続講習6名

【講習内容】

○1日目

【学科】
赤十字救急法について
手当ての基本
一次救命処置

【実技】
傷病者の観察
気道内異物除去
AEDを含む蘇生法
救急法基礎検定

【学科】
赤十字救急法救急員について

○2日目

【学科】
救急員について
急病
けが
きずの手当て
骨折の手当て

【実技】
包帯法
【継続講習】

○3日目

【学科】
骨折の手当て
搬送

【実技】
固定法・搬送法・包帯法

【講師】 赤十字救急法指導員
吉田勝比古・宇津 陽子・馬木
・森田 信子・小泉 政貴

○4日目

【実技】
総合実技
【検定】
実技・学科試験

今年22名(継続講習6名含む)が受講されました。4
日間の講習の後に受講された方々へ受講証が渡されま
した。

また、合格者には赤十字救急員の認定証が送付されま
した。合格された方々はつぎのとおりです。

平成25年度赤十字救急員資格取得講習会合格者

清心女子	1名	県松陽	1名
		(教職員2名)	

聖セシリア女子	2名	清心女子	1名
県希望ヶ丘	1名	橘学苑	3名
光明相模原	3名	横浜学園	1名
県二俣川看護福祉	1名	県戸塚定時制	2名
		(加盟校生徒14名)	

救急員資格取得講習会に参加して

(受講者感想文より)

岸良 葉里 (聖セシリア女子)

今回、この赤十字救急員資格取得講習会に参加したこ
とによって、たくさんのお話を学ぶことが出来ました。
救急法をしなければいけない状況に遭遇しないことが一
番かもしれませんが、もし救急法をしなければならぬ
状況に遭遇したら、この講習で学んだことを活かして赤
十字の使命に則り冷静に対処していきたいです。

また、私はバレーボール部に所属しているため、怪我
人が出てしまうことがあるのですが、今までは見てい
ることしかできませんでした。これからはこの講習会でた
くさん練習した包帯の巻き方や、固定の方法などを活用
できると思います。まわりの状況や怪我の状態をしっかり
把握し、怪我による障害を最小限にとどめられるよう
にしていきたいです。

この4日間は、とても内容の濃い4日間となりました。
実際に救急法を行う現場にいる時は、とても慌ててしま
うと思うので、日頃から時間があるときに、この救急法
を復習していきたいです。



手当ての基本実技の様子



「ダミーを使った心肺蘇生法の練習」

及川 知大(県二俣川看護福祉)

私は今回受講した「赤十字救急員資格取得講習会」で
将来の夢につながるたくさんのお話を聞きました。

私は将来、救急救命士になりたいと思っています。し
かし、その仕事をあまり理解していなかったため、この
講習会に参加して救急法を学びたいと思いました。心肺
蘇生法などの活用の仕方や、どのような場面でのよう
に処置をすればいいかなどを判断が出来るようになった
ことが、とても嬉しかったです。

この講習会で学んだ事を忘れないように、勉強して、
さらに知識を深め、傷病者に対して適切な処置ができる
ようになりたいです。



「学科講習の様子」

森 美空（県戸塚定時制）
 私が赤十字救急員資格取得講習会に参加したいと思った理由は、父が心筋梗塞で倒れた時の経験からです。その時は気が動転して、何も出来ませんでした。119番に連絡してから救急隊員の指示で心臓マッサージをしました。もっと早く対応できるようになりたいという思いを持ったことと、学校でこの講習会の張り紙を見たのがきっかけです。
 講習の時間はとても長く、そして暑くて大変でしたが、ここで得た知識と技術で人を助けられると考えると頑張れました。
 これから先、起こるかもしれない災害の時などで、なるべく多くの人を助けたいと思います。

川満 聖華（清心女子）
 今回の赤十字救急員資格取得講習会で簡単に資格を取得できると思っていました。実技の講習では予想以上に辛く大変で、心臓マッサージをする時にかなり強く押さないといけないということを知り、とても疲れてしまいました。
 しかし、少しずつ慣れていき、一次救命の流れを一通り覚えることができました。
 他に怪我の手当てを教わりながら、指摘された間違いを直しました。その結果三角巾の正しい使い方を覚え怪我の処置などが出来るようになりました。
 今回身に付けた救急法を使う場面に遭遇したら、この4日間で教わった事を活かして行きたいと思います。
 4日間救急法を教えていただき本当にありがとうございました。



「下肢の止血の様子」



「三角巾による頭部の止血の様子」



「各部の骨折の固定の様子」



山田 太地（橘学苑）
 今回、赤十字救急員資格取得講習を受けてみて、改めて手当ての大切さ知りました。
 指導員の方も優しく、丁寧に教えてくださりとても分かりやすかったし、とても楽しかったです。
 今回の事は、これから自分の将来に役立つことがないことが一番良いのかもしれませんが、もし自分がそのような出来事に遭ってしまった時に、何も出来ないのではなく自分で傷病者を手当てできるスキルを身に付けることができ、とても良かったです。
 これからも赤十字の講習会に参加し、もし怪我をした人、遭難してしまった人などを助けられるよう、今回学んだ事をこれからの自分の人生の財産として役立てたいと思いました。



「実技検定の様子」

福浦 なみ(光明相模原)

今回、赤十字救急員資格取得講習会では多くの事を学ぶことができました。ここで学んだ事は全てが初めてのことでした。最初のうちは多くの事を学ばなければならない不安でいっぱいでした。しかし、講師の先生方のおかげで楽しく学ぶことが出来ました。講習会で学んだ事の中に「使命感」をもつというのがあります。人を助けるためには、まず自分の中で「傷病者を必ず助ける」という気持ちを持たないと出来ないと思いました。そして、人を助ける時には、身の回りに危険な物がないかを、しっかり確認して、二重事故にならないようにしたいです。人が倒れている現場に出会うことがないと良いですが、もし人が倒れているのを発見したら、適切な判断や手当てをしたいと思いました。



「継続講習会の様子」

井上 広明(清心女子)

3年前に赤十字救急員の資格を取得させて頂きました。幸いにもその期間に使用することはありませんでした。受講して気付くことは、日常の心構えが前向きになったことです。以前は何かあったときに、何も出来なideたでしょう。その恐怖感にふたをして日々過ごしていました。しかし、今は違います。もし有事の際には、私が率先して行動できるでしょう。いくらAEDの数を増やしても、それを正しく使用できる人がいなければどうにもなりません。今回の講習は改めてその大切さを教えられた気がします。

継続は力なりといいますが、右も左も分からない前回の講習に比べ、忘れていた点はあったにせよ、着実に身につけているということが実感できました。今回の講習で学んだ最新の技術を生かし、教員として、運動部の顧問として、これからも活躍していきたいと思えます。自分に自信を与えてくれた。そのような講習でした。講師の先生方ありがとうございました。

【ご案内】

①平成25年度スポーツ医科学サポート事業 「指導者研修会」

目的：スポーツ障害の予防やメンタルトレーニング、スポーツ医科学について研修することで、その理解を深めるとともに競技力の向上を図ることや指導者の資質向上を目的とする。

内容：「競技力向上のメンタルトレーニング」

講師：高妻 容一
(東海大学体育学部教授)

開催期日：平成25年11月8日(金)

会場：県立スポーツ会館 2F 会議室

②平成25年度第48回神奈川県 高校スポーツ強化普及振興協議会

開催趣旨：高等学校におけるスポーツをより一層振興させるとともに競技力の向上を図り、健全な高校生の育成を目的として開催する。

内容：「高校スポーツ選手のための筋力トレーニングとコンディショニング」

講師：有賀 誠司
(東海大学スポーツ医科学研究所教授)

開催期日：平成25年12月15日(日)

会場：東海大学スポーツ教育センター

③平成25年度第48回全国高等学校体育連盟 研究大会

趣旨：(公財)全国高等学校体育連盟に加盟する各高等学校体育・スポーツ指導者の資質向上を図るため、日頃の研究成果を発表するとともに、当面の諸問題について情報を交換し、高等学校教育の一環としての体育・スポーツの振興・発展に資する。

開催期日：平成26年1月16日(木)・17日(金)

会場：長良川国際会議場

分科会発表テーマ

第一分科会
「競技力の向上」

第二分科会
「健康と安全」

第三分科会
「部活動の活性化」

詳細については、各校に送付してある要項、もしくは県高体連ホームページをご覧ください。積極的な参加をお待ちしております。

問い合わせ先
神奈川県高等学校体育連盟事務局
電話 045(311)8817
<http://www.kanagawa-kotai ren.gr.jp>